

鋳造技術コンクール

(軽合金)開催

課題は製品名「ベース2022」

川口鋳物工業協同組合と川口鋳造技術センターは2022年度(第11回)の「鋳造技術コンクール(軽合金)」の開催要綱をまとめた。課題は製品名「ベース2022」で、材質はJIS H 5202規格に準拠した砂型アルミニウム合金AC40Fに限る。

軽合金の鋳造技術コンクールは2012年度に創設した。鋳物産業の振興と鋳造技術のさらなるレベルアップが目的。今回も埼玉県と川口市、川口産業振興公社、川口工業会館の4団体から後援を受ける。

審査委員は、ものつくり大学の鈴木克美名誉教授、審査委員長は森田技術士事務所所長森田隆氏が務める。

上位作品の製作者には表彰状記念品を授与する。表彰式と講習会は11月29日に埼玉県産業技術総合センター(SAITEC、川口市上青木)で、「第58回埼玉県鋳造技術コンクール」(埼玉県と川口鋳物工業協同組合主催)の鋳鉄2部門と同時に開催する予定。問い合わせは鋳物組合(☎048・224・6200)へ。

第253回埼玉県鋳物技術講習会

技能検定のための鋳造技術の基礎知識



2日目に開催された鈴木名誉教授による講習会



「塗型・機械模型・精密鋳造・方案」について解説

「技能検定のための鋳造技術の基礎知識」と題した講習会が6月6日・7日・9日の3日間、埼玉県産業技術総合センター(SAITEC、川口市上青木)4階会議室のリアルとズームによるオンラインで開催された。

講師は、ものつくり大学の鈴木克美名誉教授。講習会は「塗型・機械模型・精密鋳造・方案」について解説した。

川口市市産品フェア 2022初日に実施 受発注企業商談会

川口産業振興公社は2022年度の「受発注企業商談会」を、10月21日(土)川口市上青木のSKIPシティの埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)4階会議室で開催する。受注側と発注側の企業が個別に面談できる場を提供。新規取引先の開拓や企業間のネットワークづくりなどにつなげてもらう。10月21日・23日の3日間わたってSKIPシティで開催される「川口市市産品フェア2022」の初日に実施する。商談会は川口産業振興公社、川口市、同フェア実行委員会、川口商工会議所、鳩ヶ谷商工会が共催。埼玉県産業振興公社の協力を得る。

商談会の開催時間は13時15分～16時35分。発注側で約20社、受注側で約40社のそれぞれ参加を募る。参加費は無料。

商談会では参加企業の希望調査に基づく組み合わせで受発注企業間の個別商談や、受注企業同士の商談などを予定。参加申し込みは8月10日まで同公社(☎048・263・1110)へ。

経済産業省 4月の生産動態統計

経済産業省が発表した4月の生産動態統計(速報)によると、鉄鋼物の生産量は前年同月比8.7%減の3万1181トとなった。

鉄鋼物以外の動向を見ると、鉄鋼物の生産量は前年同月比4.2%増の5347トと増加した。

アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比8.7%減の3万1181トとなった。

銅・銅合金鋳物の生産量は前年同月比4.2%増の5347トと増加した。

委員会報告

川口鋳物工業協同組合は6月8日に開いた理事・部会長会で、5月の業務・業務両委員会の審議内容に関する報告があった。主な内容は次の通り。

【総務委員会】(佐々木正委員長)①組合機関紙「川口鋳物ニュース」5月25日号の編集について承認②令和4年度組合員懇親会の開催場所について検討③玉掛け技能講習・クレーン特別教育講習講師に関するお願い④令和4年4月度財政収支状況について承認⑤川口技能実習生研修センターについて内容を精査し検討

【業務委員会】(永瀬重一委員長)①4月の事業実績及び引き合いについて報告②未収一覧表について承認③4月の事業別実績について承認④廃砂処理の4月の債務保証について承認⑤化学分析料金改定の新価格(案)を承認した。

鋳物リーダー

野崎鋳造工業(株)(蓮田市根金1766)は1月27日付で、代表者を変更した。旧代表の中牟田利平氏から、新代表に野崎雄治氏。

訃報

矢澤宏和さん(やざわひろかず)氏(株)矢澤工場代表取締役・鋳物組合理事)6月21日逝去。享年53歳。通夜は6月26日、告別式は6月27日に、錫杖寺(川口市本町2の4の37)でしめやかに執り行われた。喪主は合家の世梨乃さんが務めた。謹んでご冥福をお祈りいたします。

市内の製品やサービスをPR 川口市市産品フェア2022 10月21日～23日 SKIPシティ



昨年の市産品フェアでの鋳物組合ブース



昨年の市産品フェアでの鋳金工芸研究会

川口市は「川口市市産品フェア2022」を10月21日～23日の3日間、同市上青木のSKIPシティで開催。

鋳物や機械、木型、植木をはじめ、市内で提供される製品やサービスを一堂に集めてPRする。展示会や緑化産業・飲食店舗コーナーのほか、出展企業のプレゼンテーションや受発注企業商談会などのイベントを計画している。

市産品フェアは今年で8回目。市内の企業が提供する製品やサービスを市内外の企業や自治体職員、市民に広く知ってもらう、地元企業の販路拡大と地域経済の活性化につなげるのが目的だ。昨年に続き新型コロナウイルスの感染対策を徹底して実施するが、開催内容は感染状況により変わる可能性がある。

問い合わせは同市産業振興課(☎048・2259・9019)へ。

鋳鉄非鉄鋳物3月の生産動向

用途別	令和4年3月			川口鋳物工業協同組合	
	重量(t)	前月比(%)	前年同月比(%)	令和4年2月(前月)重量(t)	令和3年3月(前年同月)重量(t)
一般・電気機械用	4,602	107.3	108.6	4,290	4,238
輸送機械用	2,762	115.9	108.3	2,384	2,550
その他用	1,950	106.9	93.8	1,824	2,080
合計	9,314	109.6	105.0	8,498	8,868
対象工場数	65			65	68

種別	令和4年3月			川口鋳物工業協同組合	
	重量(kg)	前月比(%)	前年同月比(%)	令和4年2月(前月)重量(kg)	令和3年3月(前年同月)重量(kg)
銅・銅合金鋳物	34,022	97.3	103.0	34,954	33,029
アルミニウム鋳物	1,451,537	163.8	94.3	886,290	1,539,901

資料：川口鋳物工業組合調査、経済産業省生産動態統計調査のうち埼玉県内の事業所集計分(非鉄鋳物生産量は経済産業省生産動態統計調査による)

注1) 30人未満の事業所分は川口鋳物工業組合調査結果から下記の計算により算出しています。
調査対象事業所数 × 有効回答の合計重量 ÷ 有効回答事業所数

注2) 「鉄鋳物」…ここでは必ず鋳鉄及び球状黒鉛鋳鉄を指し、可鍛鋳鉄等を除く。

テストピース用シェル鋳型の販売価格

品名	組合員価格	員外価格
○FC用シェル (2本1組)	594円	1,188円
○FCD用ノックオフ形シェル	583円	1,166円
○板チル用シェル (10個1組)	550円	1,100円
○発光分光分析用定盤	6,600円	1セット
○ " " 金型	26,400円	66,000円

(税込)



川口鋳物工業協同組合

○申込み・問い合わせは—
業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047
FAX 048-224-1829